

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ACE具志川校		
○保護者評価実施期間	2026年 2月18日 ～ 2026年 3月27日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16人	(回答者数) 16人
○従業者評価実施期間	2026年 2月18日 ～ 2026年 2月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み () だと思われること より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	いろいろな活動やイベントを開催し、児童の『できた』を大切にし、成功体験を積み重ねられる支援を行っている。	・活動は、一か月分の計画を立て、室内遊びやレクリエーション、騎乗活動、集団遊びなど、幅広いジャンルの活動を取り入れている。 ・マンネリ化しないように計画を立てている。	活動や、イベントを固定化せず、新しいことにもチャレンジできるように計画を立てる。
2	保護者との連携を大切にし、家庭と事業所、必要であれば関係機関を交えて会議を行い、協力しながら児童の成長を支援しています。	送迎時や連絡ツールを活用し、家族の困り感や家庭での様子をの共有を行っている。保護者が相談しやすいような環境を作れるよう心がけている。	新規利用児の保護者も安心して気軽に相談できるよう保護者との信頼関係の構築に努めていく。
3	職員間で情報共有を行い、統一した支援の提供と支援の質の向上に努めています。	朝のミーティング、支援後のミーティングでの情報共有をし、支援方法などの検討を毎日行っている。	今後も職員間で情報の共有を行い、職員全体で支援できるようにしていく。

	事業所の弱み () だと思われること 事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士が交流できる機会が少ない。	年1回歩g者会を開催しているが、タイミングが合わず参加できない保護者も多かった	保護者会の開催回数、時期の検討を行う。
2	地域住民や地域の子供たちとの関りが少ない。	地域住民とかかわる活動が少ない。	・地域のイベント情報ツールを強化していく。
3	非常災害時のマニュアルの掲示や、訓練実施後の情報提供ができていない。	保護者へ非常災害時のマニュアルの定期的な提示ができていない。訓練実施の活動報告ができていない。	今後は、訓練実施の活動内容をSNSや連絡ツールを利用し、全保護者が確認できるように改善する。